

ステージア

■施工される方へのお願い

▲ 警 告

- 『ステージア』表面から手すりまでの高さが1100mm以下の場合は、転落の恐れがありますので絶対に施工しないでください。

▲ 注 意

- 風による影響を受けやすい場所での使用は、風圧により『ステージア』が飛散する恐れがありますので、下表に従い施工してください。

〈戸建住宅〉

階数	手すり形状	床面積	施工
1	—	—	○
2、3	腰壁	—	○
	格子・パネル	50㎡以下	△
		50㎡を超える	×
屋上	腰壁	—	○
	格子・パネル	50㎡以下	△
		50㎡を超える	×

〈高層住宅(マンション等)〉

階数	手すり形状	床面積	施工
1~3	腰壁	—	○
	格子・パネル	—	○
4~10	腰壁	—	○
	格子・パネル	50㎡以下	△
		50㎡を超える	×
11~15	腰壁	—	○
	格子・パネル	50㎡以下	△
		50㎡を超える	×
16~	—	—	×

○には端部カバー材なしで施工できます。

△には端部カバー材を使用してください。

※モルタル及びコンクリート以外の床面への端部カバー材は使用できません。

- 階下への避難口・避難ハッチ等の上には施工しないでください。避難口・避難ハッチ等が使用できなくなる恐れがあります。
- 施工前には下地床面のゴミや砂を十分取り除いてください。防水層を傷つけ雨漏れの原因になります。
- 『ステージア』のブロックを連結する際には、必ず隙間(2mm以上)を開けてください。隙間を開けないと夏期に熱で伸び、盛り上がる場合があります。
- 『端部カバー材』はコンクリート・モルタル床面専用部材です。それ以外の床面には絶対に使用しないでください。床面の防水層が塩ビシート・ウレタン・FRP等の樹脂系の場合、ブチルゴムによって侵され、防水機能を損なう恐れがあります。
- 本製品を切断する際はコンパネなどを敷き、床面に傷が付かないように作業してください。バルコニー床面を傷つけますと漏水の原因となる恐れがあります。
- 防水面を傷つけたり破損した場合は、必ず施工された工務店・住宅会社・防水処理業者に連絡して補修してください。
- 『ほせるんず』『ツインカード』『ルームトラス』の土間納まりに施工する場合は、必ず排水孔を設けてください。水洗い時に排水できなくなります。

■施工上のおお願い

- 駐車場・カーレージ・駐輪場など、自動車・オートバイ・自転車・重量のある台車等の通る場所に使用すると割れたり、変形しますので使用しないでください。
- 本製品は堅い床下地の上に使用し、砂・土の上や極端に不陸の大きな場所には使用しないでください。連結強度低下の原因となります。
- 『タイル』を連結する際、ハンマーで叩くと割れることがあります。

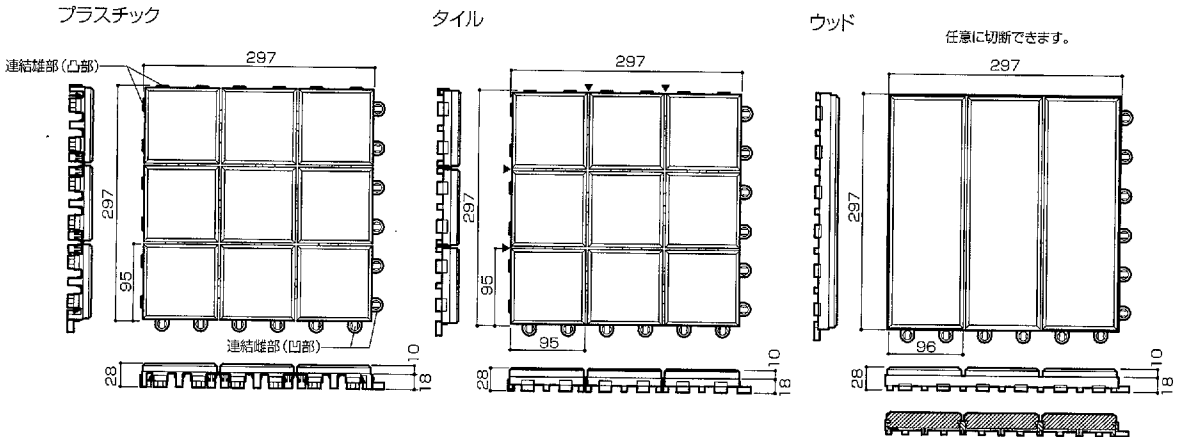
■お施主様へのお願い

- 『タイル』の上に物を落とさないようにしてください。衝撃で表面材が割れる原因となります。
- 『ウッド』に使用している木材は天然の素材につき、個体に色の差異が生じます。また、時間の経過に伴い変色を生じたり、表面にささくれ、そりが生じることがありますのでご了承ください。
- 『ウッド』の上に鉄製(スチール製)の椅子・テーブル・空缶・釘などを直接置かないでください。放置したまま水に濡れると、黒いシミを生じることがあります。また、施工当初、雨・雪などにより樹液が染み出たり、表面にシミが残ることがありますのでタワシ等で水洗いしてください。
- 洗剤は中性のものだけを使用してください。酸性・アルカリ性及び漂白剤または、ベンジン・シンナー・トルエン等の有機溶剤及び有

- 機溶剤入のものは使用しないでください。表面が変色する恐れがあります。
- 軽い場合…雑巾での水拭き、またはスポンジ、ブラシで水洗いしてください。
- ひどい場合…中性洗剤で洗い流し、敷設面に洗剤が残らないように水で洗い流してください。
- 灯油・ガソリン等が付着した場合は、放置しないですぐに拭き取ってください。
- バルコニーに敷設している『ウッド』は塗装しないでください。塗料の付着により防水層を劣化させ、漏水の原因となる恐れがあります。塗装する際はユニットをはずし、別の場所で作業してください。

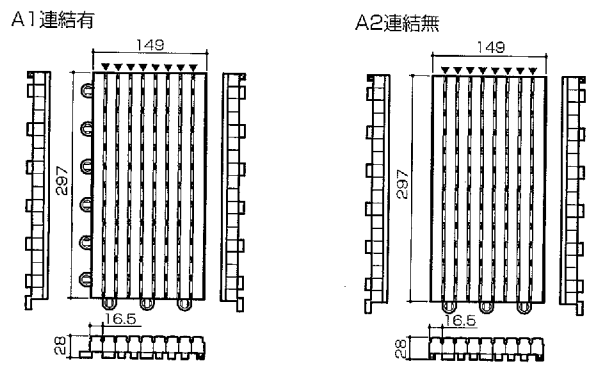
製品概要

■本体 (▼は部材切断位置)

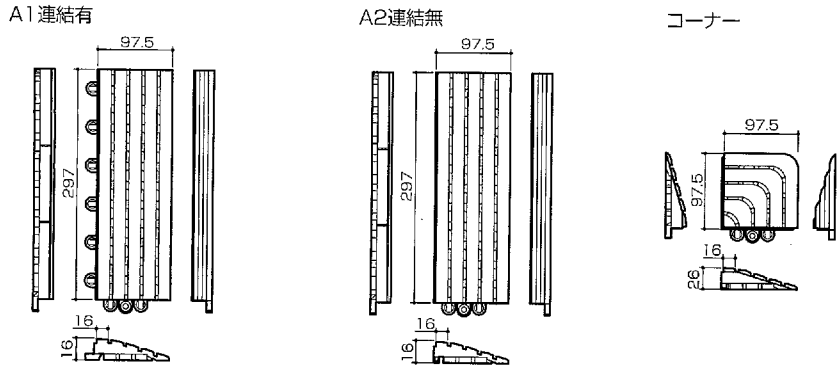


※切断の場合、枠体裏面より木ネジM2.7×16 (現場手配) で必ず止めてください。

■幅調整材 (▼は部材切断位置)



■スロープ材

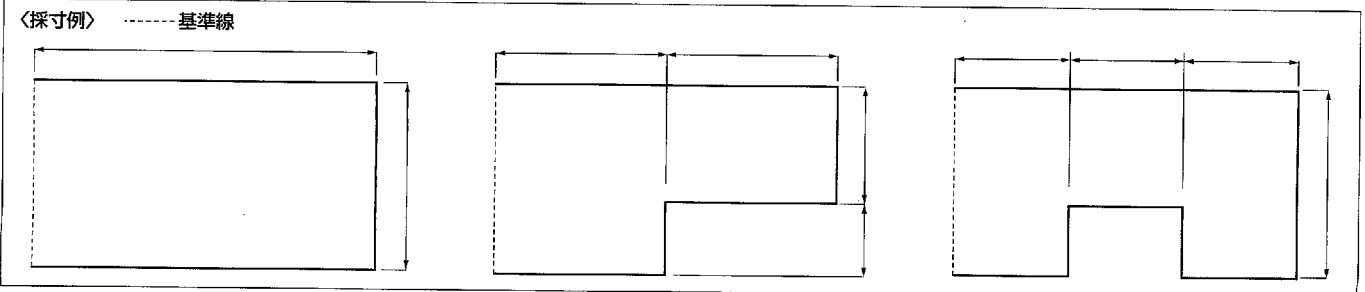


■施工順序

1 敷設面の採寸

① 割り付けをしやすくするために (図-1) を参考に基準線を設定し、採寸してください。

(図-1)



② 雨戸袋、樋落し口、柱、排水溝等の障害物について、位置の確認と寸法測定を行ってください。
 ※ 「はせるんです」 (土間納まり) に施工する場合は、排水口を必ず設けてください。

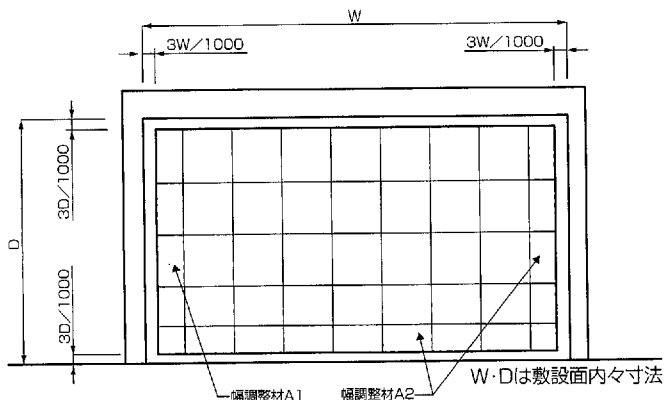
ステージア

ステージア

2 割り付け

①下図に従い必要枚数を決定してください。

●造り付けバルコニー、ほせるんです、ツインガード、ルームトラス



本体

- ・間口方向必要枚数 $N_w = (W - 3W/500) / 299$
- ・出幅方向必要枚数 $N_D = (D - 3D/500) / 299$

(小数点以下は切捨て。整数の場合は幅調整材不要)

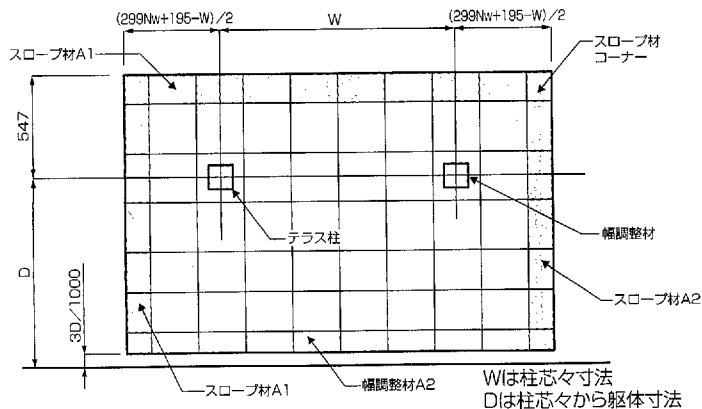
総必要枚数 $N = N_w \times N_D$

幅調整材

- ・A1連結有 $n_1 = N_D + 1$
- ・A2連結無 $n_2 = N_w + N_D + 1$

※造り付けバルコニーで排水溝がある場合は、W、D寸法から排水溝の幅を差し引いてください。

●テラス土間納まり



本体

- ・間口方向必要枚数 $N_w = W / 299 + 3$

※関西間1.5間、2.5間、九州四国間1.0~2.0間、3.0~4.0間は $N_w = W / 299 + 2$

- ・出幅方向必要枚数 $N_D = D / 299 + 2$

総必要枚数 $N = N_w \times N_D - P$ (P: 柱本数)

幅調整材

- ・A1連結有 $n_1 = 2 \times P$
- ・A2連結無 $n_2 = N_w$

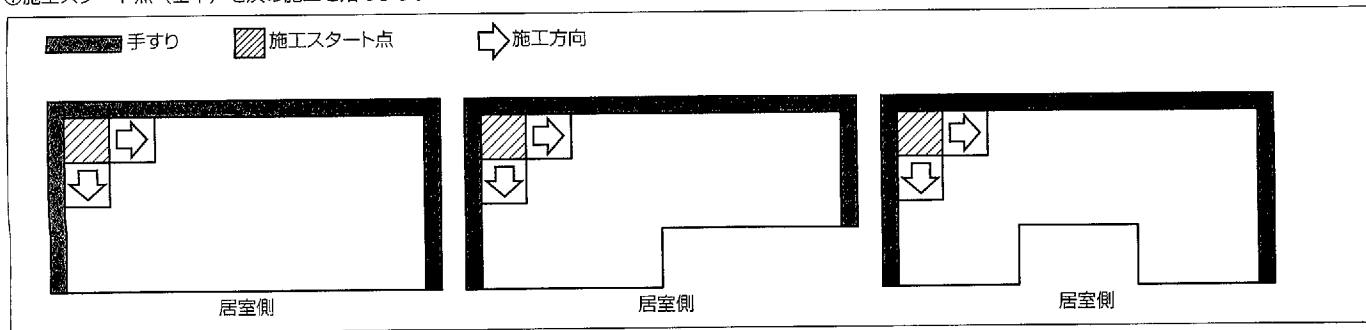
スロープ材

- ・A1連結有 $n_{s1} = N_w + N_D + 1$
- ・A2連結無 $n_{s2} = N_D + 1$
- ・コーナー $N_{sc} = 2$

②300mm角以下の部分や障害物のある部分には、幅調整材や『ステージア』本体の切断等により納まりの調整をしてください。

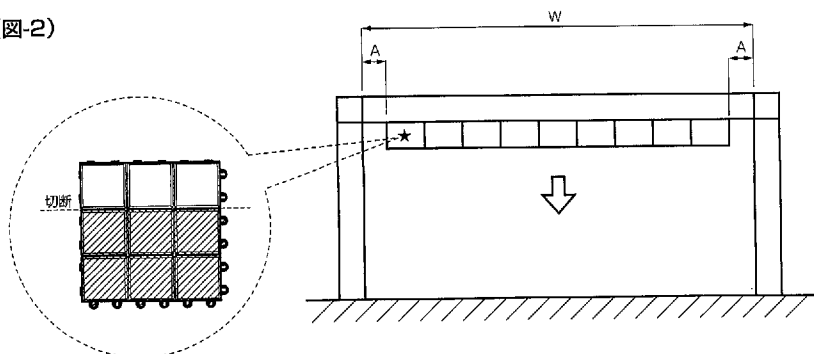
3 基準点の設定

①施工スタート点（基準）を決め施工を始めます。



※『ほせるんです』（土間納まり）に施工する場合は『ステージア』本体を（図-2）のように1/3切断し、斜線部を室外側間口方向へ並べてください。また、両側面、躯体側には幅調整材を用いるため、下記公式に従い水受け材から本体まで隙間を開け、スタート点を設定してください。（ウッドも同様）

（図-2）



$$A = \frac{W - (299N_w - 2)}{2}$$

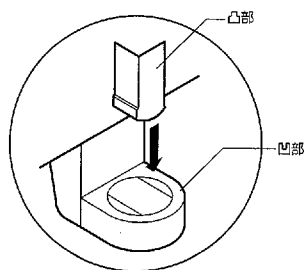
W: 下地床面間口方向内々寸法

N_w: 間口方向本体敷設枚数

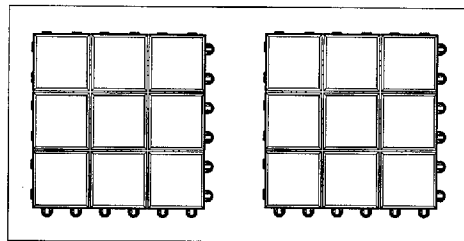
4 連結方法

①連結は雄部（凸部）と雌部（凹部）を同一方向に並べ、雄部に雌部を重ね合わせて、下方向に「パッチン」と音がするまで押し込んでください。

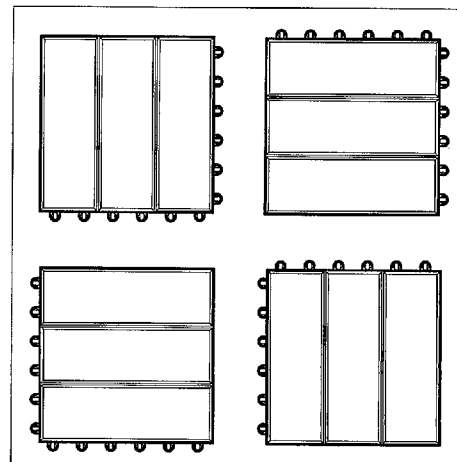
■連結の仕方



■同一方向に並べて連結



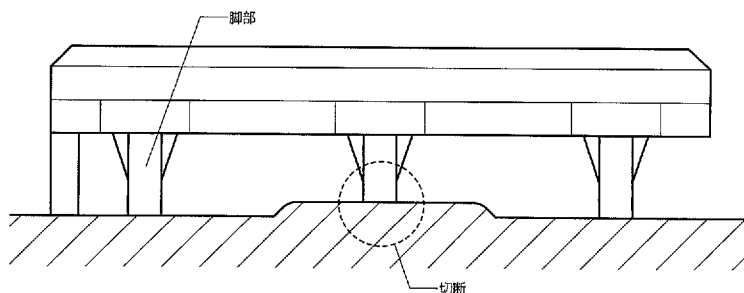
■ウッドをバスケット模様施工する場合



※90度ずつ回転させながら施工

■不陸調整

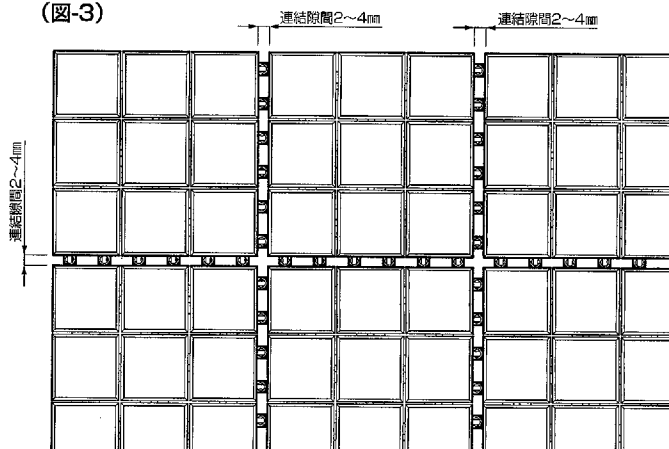
「ステージ」裏面の脚をプラニッパー等により切断することにより、3mmまでの敷設面の凸部に対応できます。凹みがある場合には、穴埋め等を行い平らにしてください。切断にはメリー社製「ダクトプラニッパー」DK-55 250m/m用等が便利です。



5 熱伸縮への対応

①気温の変化による「ステージ」の伸び縮みがうまくでき、美観を損なわないよう、ブロックの連結隙間を（図-3）のように開けてください。

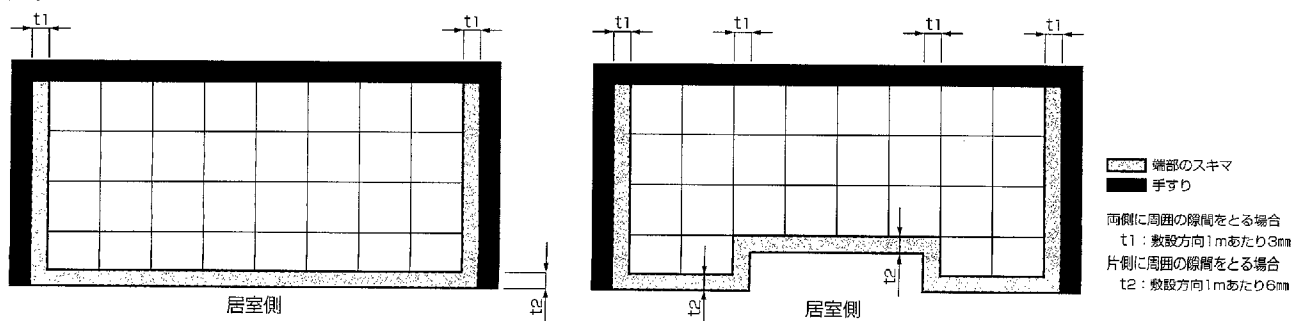
（図-3）



※冬場（気温10℃以下）は連結隙間を完全に（4mm）開けてください。その他の季節（気温10℃以上）は連結隙間を2mm開けてください。

②敷設面の端部まで敷き詰めたら（図-4）のように大きめの間隙を開けてください。

（図-4）



ステージア

6 端部・障害物の納まり調整

①幅調整材の切断

幅調整材は溝に沿って16.5mm幅で容易に切断できます。納まりに合わせて切断してください。

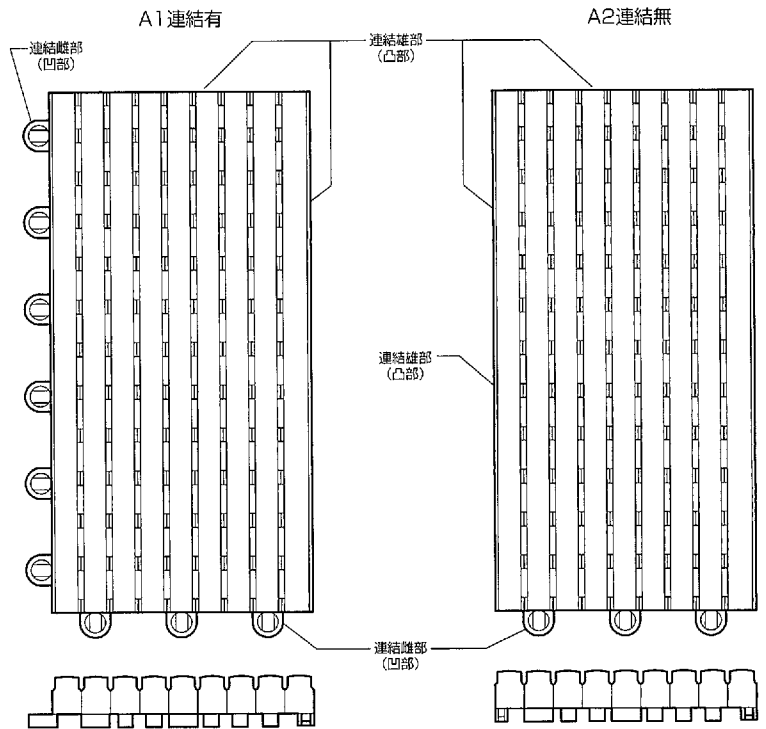
※雨といなどの突起物がある場合は、幅調整材を切り欠いて対応してください。

②本体の切断

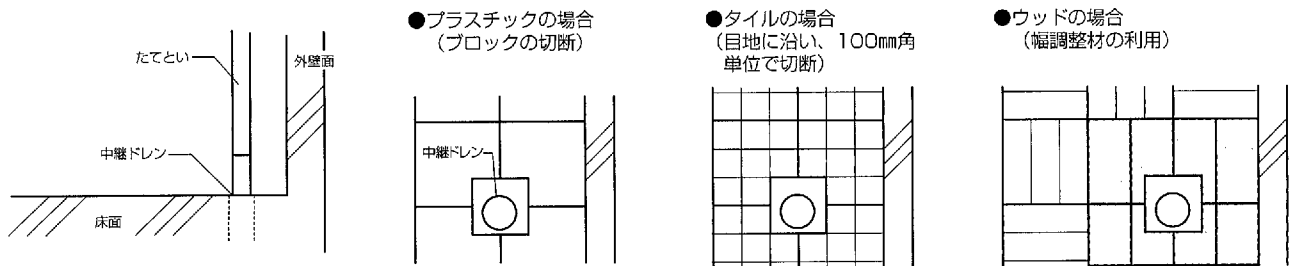
納まりに合わせて部材の切断が必要な場合は、下表に従ってください。

種類	切断単位	切断単位
プラスチック	任意	ノコギリまたはジグソーで切断
タイル	100×100mm	目地に沿い、ノコギリまたはカッターで切断
ウッド	任意	ノコギリまたはジグソーで切断※
幅調整材	短手方向 16.5mm	ノコギリまたはジグソーで切断
	長手方向 任意	ノコギリまたはジグソーで切断

※ウッドのブロック本体を切断した場合、裏面より木ネジM2.7×16で表面材を固定してください。

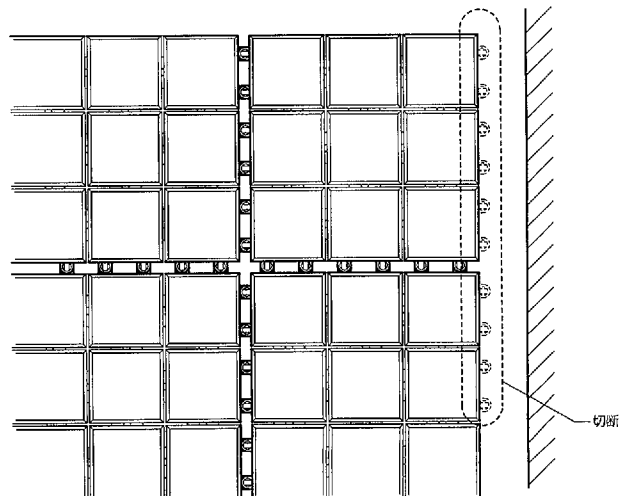


■柱あるいは中継ドレン等の障害物がある場合の納まりはブロックを切断するか幅調整材を用いて、図のように行ってください。



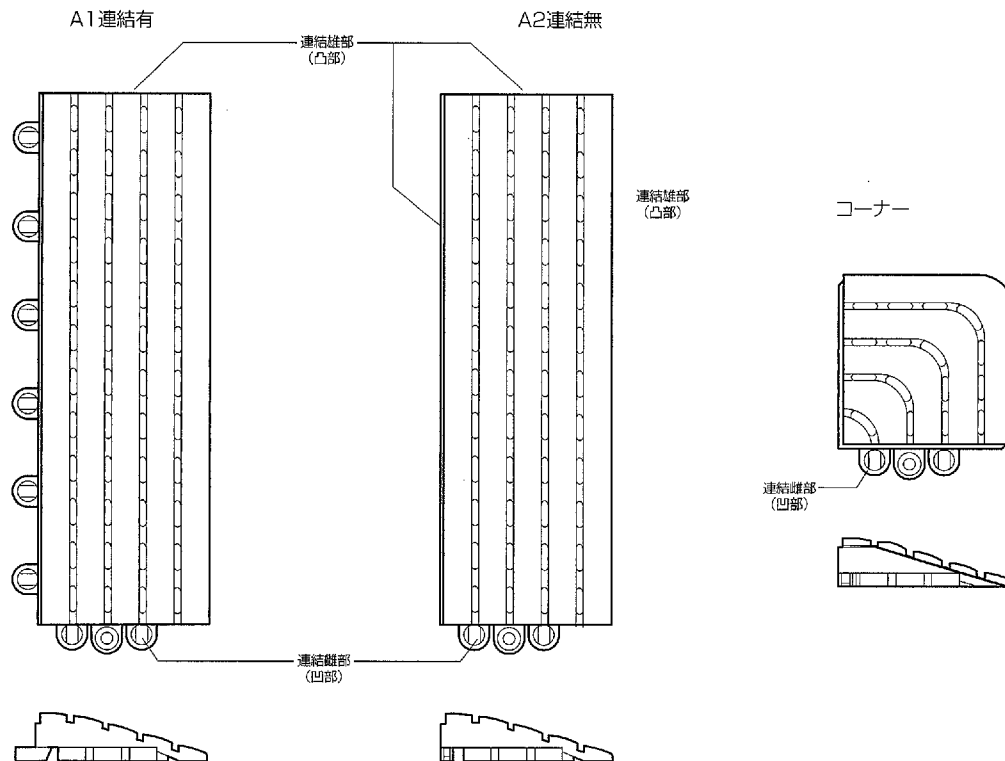
③連結部の処理

端部に『ステージア』の連結雌部(凹部)がきた時は、雌部を切断してください。納まりが美しく見えます。



■スロープ材

- 『スロープ材』はすべてのブロックと連結でき、ブロックの端部の段差を小さくし、歩きやすくするための部材です。
- 『連結有』『連結無』『コーナー（出隅）』の3種類があります。必要に応じて使用してください。

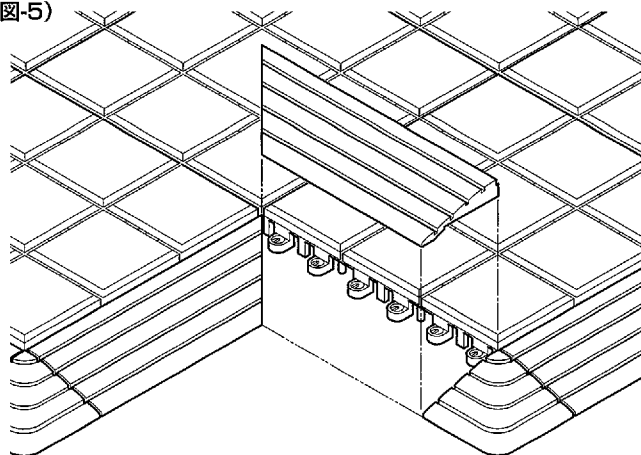


①『ステージャ』ブロックを敷設した後、ブロックの周囲を時計回りに敷設を進めてください。

※出隅には『コーナー』をご使用ください。

入隅は(図-5)の様にリブに沿って45°角に切断した2部材を突き合わせて仕上げてください。

(図-5)



■アンカーによる固定

●『スロープ材』は歩行等による『ステージャ』の位置ずれを防ぐために、アンカーで固定できます。必要に応じて使用してください。

①アンカーを打ち込む前に必ず下地の確認を行ってください。バルコニー・屋上等、防水材が使用されている場所では漏水の原因となりますので、アンカーの打ち込みは行わないでください。

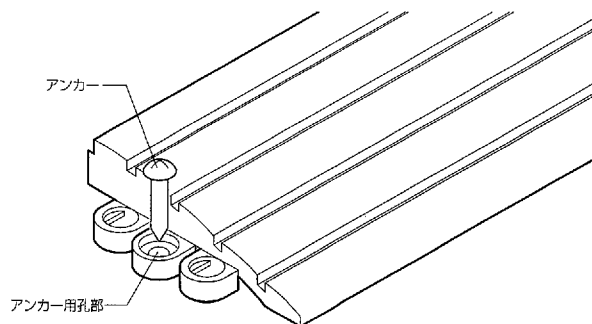
②アンカーボルト及び工具を準備してください。

φ4アンカーボルト（現場手配）

振動ドリル（下孔加工用）

電動ドリル（アンカー打ち込み用）

③固定と連結を交互に繰り返しながら敷設してください。



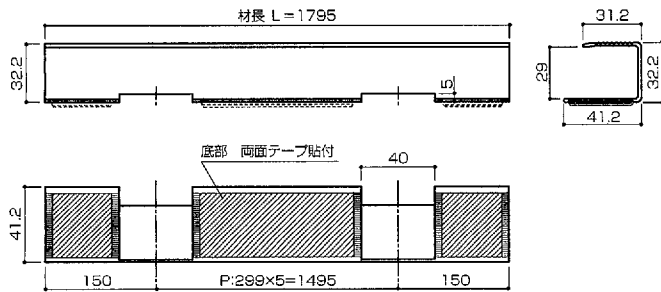
ステージア

■端部カバー材

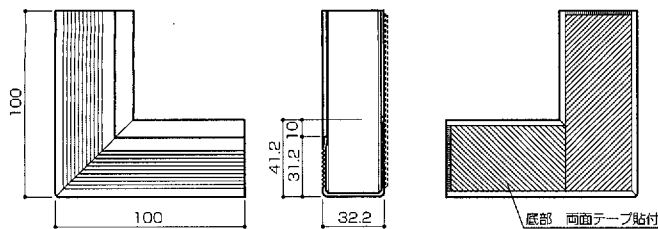
- 『端部カバー材』は『ステージア』の端部を固定し、風によるバタツキを防止する部材です。
 - マンション等の風の吹き込みのあるバルコニーにご使用ください。
 - コンクリート・モルタル以外の床面には施工しないでください。
- ※床面と端部カバー材を固定する両面粘着テープの粘着力低下の原因となりますので、施工前には必ず床面のほこり、汚れ、水分等を完全に除去してください。

■製品概要

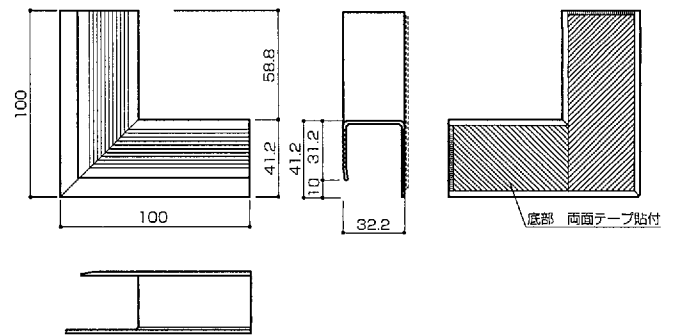
本体



出隅用



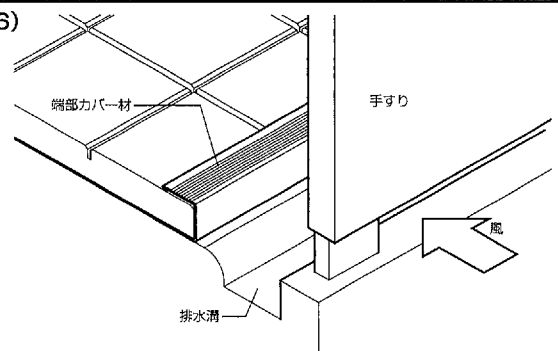
入隅用



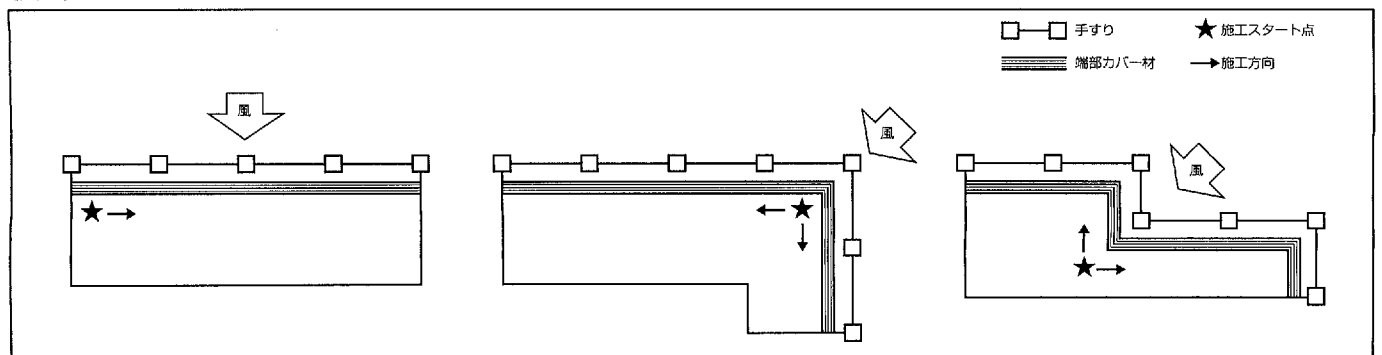
1 施工位置合わせとスタート位置の決定

- ①(図-6)(図-7)のように風の吹き込みが考えられる位置に施工します。
- ②位置合わせのため、前もって床面に「端部カバー材」を仮敷設(テープ剥離紙をはがさないで)し、寸法調整を行います。
- ③施工スタート点を決め、矢印の方向へ施工を行います。
- ④本部材はアルミ材ですので、ジグソー、金切り鋸などで切断し、寸法を調整してください。

(図-6)

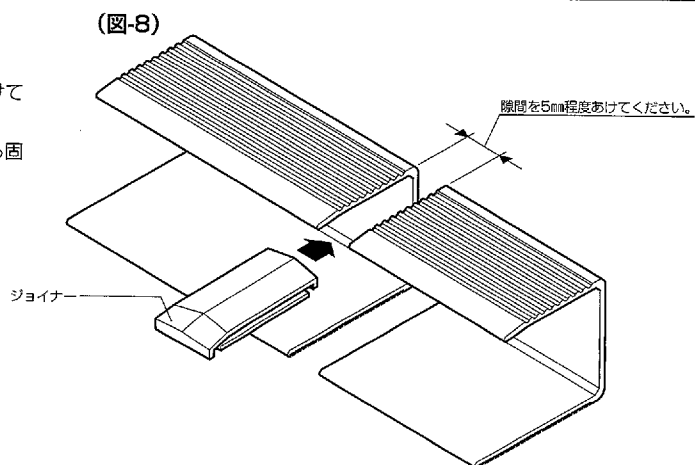


(図-7)



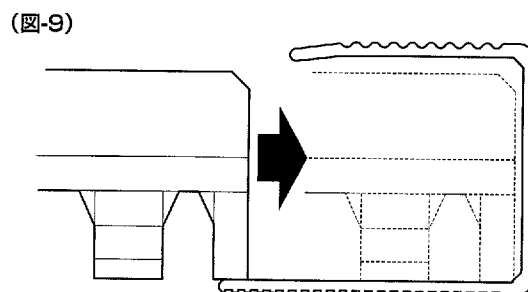
2 端部カバー材の固定

- ①裏面のテープ剥離紙をはがし、押さえつけて床面と固定します。
※『端部カバー材』同士の間にはジョイナー挿入のため5mm程度の隙間を開けてください。(図-8)
※気温が5°C以下での施工の場合は、テープ面をドライヤー等で温めてから固定してください。
- ②付属のジョイナーを隙間にはめ込みます。



3 ステージアブロックの敷設

- ①『端部カバー材』を固定し終わったら『ステージア』ブロックを1列連結し、連結したブロックを(図-9)のように端部カバー材の奥まで挿入します。
- ②挿入する側にブロックの連結継部(凹部)がある場合、連結部を切断し、挿入してください。
- ③ブロックの敷設は本取付け説明書表面の〔施工順序〕に従ってください。



4 ステージアブロックの固定

- ①『ステージア』ブロックが端部カバー材から抜けないように、付属のビスで固定してください。(図-10)
- ※『プラスチック』『ウッド』『幅調整材』は目地以外の表面に固定し、『タイヤル』は本体内の目地間で固定してください。
- ②出隅・入隅は端部カバー材『本体』を45°でカットし、突き合わせることで仕上がりますが、『出隅用』『入隅用』を用いると美しく仕上がります。

